



神保町のカレー屋さん

東京・神保町は言わずと知れたカレーの聖地で、有名店が沢山あります。弊社の近くにも名の通ったカレー店をはじめいくつもお店があります。今回紹介したいのは、弊社から歩いて30秒ほどの近距離にある「ひつじや」さん。何度もテイクアウトをされていて、バターチキンカレーを毎回頼んでいます。お近くにいらした際は食べてみてください。おススメです！（延本）

労基署の立入調査で判明した不払賃金総額に関する最新動向

令和7年中に労基署が取り扱った賃金不払事案は22,605件（前年比251件増）、対象となった労働者数は173,016人（同12,181人減）、**不払賃金の総額は128億5,782万円**（同43億5,331万円減）となっています。件数は増加したものの、対象労働者数や金額は減少しています。

これらのうち、令和7年中に労基署の指導を受けて事業主が賃金を支払い、解決に至ったものは21,731件で全体の96.1%を占めました。対象労働者数は167,828人（97.0%）、支払われた賃金額は109億9,703万円（85.5%）と、多くの事案が行政指導によって改善されたとみることができます。

◆今後の動向

8月19日、厚生労働省は9月1日から時間外労働等に係る監督指導を見直すことを明らかにし、36協定で定めた内容と健康・福祉確保措置の実施状況等に応じた指導を行うとしました。今後は見直し後の指導方針も念頭に置いておくといでしょう。

◆企業の実務ポイント

勤怠管理の不備による未払残業代の発生や給与支払の遅延なども、賃金不払として問題となります。そのため、勤怠管理が適切に行われているかは会社の諸規則変更時などに定期的に確認することをお勧めいたします。

【参考】賃金不払が疑われる事業場に対する監督指導結果（令和7年）を公表します

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_75588.html

令和8年9月1日から時間外労働等に係る相談・支援および監督指導の見直し

厚生労働省は、本年9月1日より、全国の労働基準監督署における対応の見直しに取り組むことを公表しました。

残業を月45時間以内とするよう求めてきた一律の指導を見直し、**各事業場が36協定で定める健康確保措置の実施状況を重点的に確認**し、確認した状況に応じた必要な指導を行うこととしています。個々の事業場の実態を踏まえ、過重労働による健康障害が生じるおそれが高い場合には、引き続き必要な指導を行うとしています。

上記見直し等による具体的な変化については、今後明らかになるでしょう。自社の労働時間管理や過重労働対策に関する取り組みについて、改めて確認してみるのも一案です。

【参考】厚生労働省「時間外労働等に係る相談・支援及び監督指導を見直します」

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_75454.html

国民年金保険料の「育児免除制度」が始まります

令和8年10月から、国民年金第1号被保険者を対象とした「育児免除制度」が始まります。自営業者やフリーランス、農業者、無職の方などが子を養育している場合、申請により**国民年金保険料が免除される制度**です。

◆子が1歳になるまで保険料納付を免除

原則として、子を養育することとなった月から子が1歳になる誕生日の前月までの期間（実母は産前産後の保険料免除期間に続く9カ月間）が対象となります。免除された期間も「保険料を納付した場合」と同じように将来の老齢基礎年金額に反映されるので、育児中の保険料負担を軽減しながら将来の年金額への影響を抑えられます。

◆申請を忘れずに

「国民年金産前産後免除該当届／育児免除該当・終了届」の提出が必要です（令和8年10月よりも前から子を養育している方も、同年10月1日以降に手続きを行うことができます）。市区町村の国民年金窓口や郵送による申請のほか、マイナポータルから電子申請もできます。申請の際には、マイナンバーカードの写しや養育関係を確認できる書類が必要となる場合があります。

【参考】国民年金保険料の育児免除制度

<https://www.nenkin.go.jp/service/kokunen/menjo/ikujimenjo.html>

『やりたいことが見つかる 世界の果てのカフェ』 ジョン・ストレルキー（著）、鹿田昌美（翻訳）（著）

神保町の三省堂書店の本店がリニューアルオープンした際に平積みされていたので手に取った1冊。

多くの人は、他人が求める理想（世間体、給料、キャリアなど）に合わせて働き、休日に散財してストレスを解消し、「老後になったらやりたいことをやろう」と考えがち。しかし、今日やりたいことを先延ばしにしていると、死ぬ直前になって「本当にやりたいことをやらなかった」と後悔することになるから、小さなことからでも、今日から自分のやりたいことに時間を使う選択をしていくべきだよ！と説かれた本でした。1回読んだだけでは私は腹落ち感が低い気がします。日々忙しい毎日が続くので、まずはゆっくりと立ち止まって考える時間が必要なのかもしれません。

